

【将来像・教育目標】・・・「豊かな心、自立の技を養成する誇れる幼稚園の推進」												
最重点目標(KPI)	具体的目標(数値化)	ロードマップ(戦略: 何をいつまでに・どのように)										アクションプラン
		2021年度	検証	2022年度	検証	2023年度	検証	2024年度	検証	2025年度	検証	考え方・内容、反省・改善策
Ⅰ. 入園者確保策 (全年50名以上) ・定員の見直し ・保護者ニーズ調査 ・募集の在り方	① 定員確保: 3歳児の入園者 50名(最低2クラス確保)	定員:150人 50名	大津京方面へのバス運行(1年目) 送迎の効果検証 (32名)	定員:150人 50名	応募人数減少 要因分析と対策	定員:130人 50名⇒30名	募集定員数の見直し	定員:110人 年度初め16名 2025年4月に2名転入 2026年1月1名転入 計21名	定員確保が困難 定員数減:110人→90人	定員90名の確保 19名 8月1名転入 20名で運営	△ 年度初め 59名 満3歳児 12名 転入児 3名 年度末 74名	・認定こども園化の検討→幼稚園型★→保育 園型へ ・大津市の幼稚園状況とその対策 ・小型バスの導入→小回り送迎による園児獲得
	② 2歳児の受け入れ (20名程度)	2クラス20名	応募者減 (23名在籍)	2クラス20名	応募状況の吟味 応募ニーズの調査	2クラス20名	応募状況の把握	満3歳児クラス創設検討	園則の見直し(満3歳児受入)	べんぎん組4名 ひよこ組4名 満3歳へ移行 12月3名残	・10月に木曜クラスの統合 ・次年度以降も年度途中で 徐々に少なくなる ・満3歳児の受入実施	・満3歳児の受入れニーズ ○ ・子育て支援教室の環境整備 ・指導者の確保 ・保護者アンケートの実施
	③ 未就園児対象子育て支援 事業の充実(年間8回)	年間8回 1歳半以上 定員 12組	△ 参加へのPR必要	年間8回	参加状況の調査実施	年間8回	参加状況の調査・対策	年間8回	△ 参加状況、参加募集方法の 改善	年間8回実施 短期大学地域連携と連携	○ 毎回9割以上の参加率	・保護者ニーズの調査 ・就学前の体験を増加 ・開催回数と内容の検証
	④ 夏季預かり保育の充実 (7日間実施)	7日間 9:00～14:00 1日平均50名	参加へのPR必要 参加者増加に向けた対 策	7日間 9:00～14:00	参加状況の吟味	7日間 9:00～14:00	参加状況の吟味	7日間実施	長期休暇中の預かり保育充 実の必要性	春季(4月)8日 夏季 24日 冬季 5日 春季(3月)5日 計42日	○ 夏季の需要は高い 8:30からの希望がある 導入検討	・保護者ニーズの把握 ・期間の活動内容の充実 ・期間の延長
Ⅱ. さらなる教育の質の 向上策 ・園の特色 ・教員の質向上	① 教員の資質向上策 研修参加事業	・近畿地区私立幼稚園教員研修大 会 大阪大会に参加 ・1人1回以上研究会に参加	・オンライン研修により全 員参加 ・園長発表	近畿地区私立幼稚園教員研修大 会 大阪大会に参加 1人1回以上研究会に参加	参加報告での情報共有	近畿地区私立幼稚園教員研修大 会 京都大会へ参加 1人1回以上は研究会に参加	参加報告での情報共有	近畿地区私立幼稚園教員研修会に参 加	参加者は園内で情報共有	第73回全国幼稚園教育研究大会 公開園(7/28)	○ 80名を超える参加者。 夏すみれを公開 園環境について高評価	・報告書の提出 ・職員会議で発表(伝達研修、共有化)
	② 幼児造形研究大会 会場園	6年目大会	コロナ禍により中止	7年目大会	実施されず	8年目大会	実施されず	9年目大会	研修の場として有効	奈良にて開催 参加せず	新しい教育活動・研究・調査 が必要 形骸化の検証 △	・この機会をどう活かすかを検証 ・絶好の教職員研修の場 が必要 ・特色ある幼児教育
	③ 教育課程の見直し 「体力づくり」「自然とのふれあい」 ・「英語」教育	新教育課程の実践と見直し	体力づくり・自然とのふれ あいの実施	新教育課程の実践と検証	新教育課程の実施	文科省研究開発校へ向けて (教育課程と地域)	実現せず	英語学習の導入を検討	○ 「FunFunEnglish」後期から導 入	地域に出向いた学習の機会 (立木山・びわこ学習・南郷公園・茶臼 山・消防署) 栽培活動(たけのこ・サツマイモ・くり・ たまねぎ)	取捨選択の必要性 園児への教育ニーズ	・園の特色探し(体力・歯科・英語・地域活動な ど) ・社会に開かれた教育課程 ・地域教材の発掘 ・活動広報の充実(HP、インスタ等)
	④ 教育施設等の充実 ・老朽化箇所	施設の安全対策	・2クラスのドア修理 ・遊具の安全確認	施設の安全対策	・補修箇所の再確認 ・遊具の安全確認	施設の安全対策	・補修箇所の再確認 ・遊具の安全確認	施設の安全対策	補修箇所の再確認 ・遊具改修 ・雨漏り改修	補修必要箇所 ・水場・展望テラス ・門・植栽・斜面	・経年劣化が相当ひどい ・遊戯室の空調設備導入 ・送迎バス導入	・計画的な安全対策と応急的な安全対策 ・財政基盤の強化→設備改修負担対策
Ⅲ. 組織体質強化 ・適正人員化 ・業務内容の見直し ・教員同士のコミュニ ケーション	① 第三者評価 課題解決に向けた取組み ・園だよりの充実	ECEQIによる公開保育と協議園	令和3年11月4日に実施	ECEQIによる組織体制の強化	研修の実施	ECEQIによる組織体制の強化の充 実	研修の実施	ECEQIによる組織体制の強化	年3回実施	年3回実施	○ ・園だよりにて報告 ・内容の充実 (指摘内容の改善策)	・第三者評価員の意見内容の検証 (外部評価の検証) ・実施要項の作成 ・教育の質の保証改善 ・見やすさ追求
	② 職員研修の充実 ・自己啓発	外部講師による研修会の開催	個別の指導計画の作成 の実施	職員研修の充実	参加者は園内で情報共 有	職員研修の充実	参加者は園内で情報共 有	職員研修の充実	参加者は園内で情報共有	満3歳児クラスの運営に関して他園に 見学に行く	泉山幼稚園での研修調査 見習うべき内容の検証実施	・月1回は職員会議後の時間を活用 ・研修担当者による意識向上 ・自己啓発
	③ 園務分掌の活性化	チーム学年・チーム園務分掌の推 進	学年運動会、すみれフェ スティバル等、行事の充 実	チーム学年・チーム園務分掌の推 進	行事の見直しと体制つ くり	チーム学年・チーム園務分掌の推 進	行事の見直しと体制つ くり	チーム学年・チーム園務分掌の推進	園児数減により単級となる 学年が発生	固定化された業務分担を再考	・職員数の少なさ ・前年度踏襲の考え方を見 直す必要がある ・業務の見直し	・兼務できる体制づくり ・職員の意識改革と幼稚園運営の認識 ・成果を保護者等へ発信

※中長期経営計画「すみれ2030」の期間・・・2018年度～2030年度とし、第1弾・第2弾・第3弾に期間区分して進捗管理する。
※学園全体の重点目標(KPI)に基づき、各部門の中期目標、ロードマップ、アクションプランを設定。中期目標項目(4つに拘らない)の増減は各部門にて考慮すること。